

テンプレート研究会 ニュースレター

Vol.01

2020年

理事長あいさつ

会員殿

お元気の事と察し申し上げます。素晴らしいテンプレート療法は口腔から全身を考え、特に、三叉神経、すなわち、脳神経系をベースに考えたとき、医療に大きく貢献しています。Quadrant Theoremを基本にしたテンプレート療法を確実に多くの先生に伝え、会員の先生がコアとなって世界に羽ばたけるようにと思い、再確認の一年と考えています。臨床的に大きく飛躍された先生、基礎医学を多いに利用しておられる先生と共に、何時か歯科医学の常識になると信じて、先生方の英知を擦り合わせて切磋琢磨したく、先生方の御協力をお願い申し上げます。

NPO日本テンプレート研究会 理事長 前原 潔



理事通信

テンプレート研究会と私

専務理事 田賀 仁

私がテンプレート研究会を知ったのは、大学を平成6年に卒業した翌年でしたでしょうか。患者さん向けに前原先生が出版された、「歯のかみ合わせで病気を治す」(主婦の友社)と「全身改善:テンプレート療法」(日本医療文化センター)を同じく会員である母に勧められ、読んだのがキッカケです。正直に申しますと、これらの本を読む以前、私は歯科治療に興味を持てずにおりました。「こんなに多くの歯科医師がいるのだから、どうして無理をして自分が歯科治療をする必要があるのか?」、あるいは、「精工で綺麗な補綴物を作製するのなら、歯科技工士さんにお任せした方が良いのではないか?」、等と自問自答しておりました。それらの疑問が、前原先生の著書を読んだ途端、目が覚めたと申しますか、沸々と心の底から湧き上がるような歯科医療への期待と興奮を覚えたのです。そして、当時、日暮里にあった和田精密歯研で行われていた月に一度のテンプレート診療を見学に出向きました。そこで、前原先生や玉置先生が生き生きと診療されており、初対面でどこの馬の骨とも判らない私の稚拙な質問に対し、とても丁寧な治療理論を説明していただき、その答えの全てが本物の輝きを持っていたのです。それ以来、前原先生の著書を何度読み返したか判りません。そして、勉強する事の楽しさを初めて知ることが出来ました。その気持ちは、総合病院の歯科口腔外科に勤務する今も変わりありません。勉強する意味を教えてくださいました、グゼイ先生、前原先生はじめ、テンプレート研究会のメンバーの先生方には、心から感謝いたしております。今後も、素晴らしい先生方と情報交換をしながら、勉強し続けて行きたいと思っております。

～2019年総会報告と2020年総会開催のお知らせ～

2019年11月30日東京新宿のかどやホテルにて通常総会が開催されました。

牛久保順一理事が議長に選出され第1号～第5号議案まで満場一致で可決されました。総会後は懇親会場に場所を移し、会員間の近況報告やテンプレート治療の今後について熱い議論が交わされました。旧事務局の西村妙子さんも参加し、思い出話に咲かせていました。2020年の総会は3月14日(土)19:00～にかどやホテル会議室で開催します。是非ご参加ください。

